

# 災害救援 復興支援

## 東日本大震災復興支援活動

2011年3月11日、マグニチュード9.0を記録した地震により、太平洋沿岸に大津波が発生し甚大な被害をもたらした。

JHPは3月24日、宮城県南三陸町に派遣隊による救援物資を届けると共に、同町からの要請によりボランティアセンターの立ち上げと運営のサポートを開始し12月には地元へ引継ぎをして長期派遣を終了した。

また、皆様からお預かりした義援金は地元のニーズにより多くの支援物資をお届けすると共に会員皆様による支援ボランティア隊の継続派遣をした。

仮設住宅に引きこもりがちのお年寄りに心の拠りどころとして、カフェ“あずまーれ”にテントを寄贈し皆さんに喜ばれた。今年の3月にはその使命を終えて閉店した。

今は、JHP三島の山岡理事を中心に南三陸町に“さくら”の名所創りの為に苗木1500本を超える活動を展開し地元の皆さんから期待と喜びが寄せられている。

今年の桜まつりにはJHPから小山内代表他3名が参加した。



## 熊本地震被災支援活動

2016年4月14日から16日にかけて熊本県と大分県に震度7を観測する最大級の地震に見舞われた。死傷者は3,000人に達し避難者は19日現在両県合わせて117,700人でそれぞれ学校や公共施設などに避難された。JHPでは中でも被害の大きい益城町を中心にボランティアを送りこむとともに、JHP熊本の佐伯理事を中心に避難所で不足する日用品の配布や炊き出しなどを行って、皆様から寄せられた義援金は有効に活用させて頂きました。

## 九州北部豪雨被災支援活動

2017年7月5日から6日にかけて、福岡県と大分を中心とする九州北部で発生した観測史上最高とされる集中豪雨は河川の氾濫や土砂崩れなどによる家々倒壊やインフラの寸断が等甚大な災害となった。

JHPとしては災害救援募金を開始し、中でも大きな被災をされた。福岡県朝倉市に7月27日調査に入った、既に幹線道路は整備されていましたが、住宅地には土砂に埋もれた家々が有りその地区は車両通行止めであった。ボランティアの皆さんは家々の土砂だし35度の炎天下ボランティアセンターで休養している方も見かけた。

ボランティアセンターでは、「救援に使う道具は満たされている、頂きたいのは飲み水です」JHPでは皆様から寄せられた義援金を朝倉市社会協議会を通じ地元でお役に立つようお贈りしました。